

2009 全日本女子ヨットマッチレース選手権/クイーンズマッチ

2009 年 7 月 19 日～20 日

レース公示(Ver.2.1)

<p>1 主催団体等</p> <p>本大会は日本ヨットマッチレース協会(JYMA)と株式会社日産マリーナ東海が共同主催する。 また本大会は財団法人日本セーリング連盟(JSAF)の公認全日本大会である。</p> <p>本大会は以下の企業・団体の後援、協力の下に行われる。 [後援] 愛知県ヨット連盟</p>
<p>2 開催地</p> <p>開催地は愛知県幡豆郡幡豆町である。レース本部は日産マリーナ東海内に設置される。</p>
<p>3 イベント・グレーディング</p> <p>本大会は ISAF グレード 4 として申請している。このグレーディングは ISAF Match Race Rankings Sub Committee による再検討の課題となる。明確な理由がある場合、本大会のグレードは変更されることがある。また、本大会は JYMA イベントグレード係数 1.5 の大会である。</p>
<p>4 予定プログラム</p> <p>4.1 毎日の予定</p> <p>7 月 19 日(土) レース日(初日)</p> <p>09:00 レース本部オープン 09:00-10:00 受付と体重測定 10:00-10:30 艇長会議 & アンパイア・ブリーフィング 10:45 レース艇ドックアウト 11:30 最初のマッチの注意信号発令 17:00-18:00 アンパイア/スキッパー・ブリーフィング 18:30 レース本部クローズ 18:30-20:00 レセプション</p> <p>7 月 20 日(日) レース日(最終日)</p> <p>08:00 レース本部オープン 08:00-08:30 交代要員の受付と体重測定 08:45 レース艇ドックアウト 09:30 最初のマッチの注意信号発令 15:00-16:00 アンパイア・ブリーフィング/表彰式 16:30 レース本部解散</p> <p>4.2 実行委員会により許された場合を除いて、以下の行事に出席することは義務である。</p> <p>(a) スキッパーは毎日の艇長会議とアンパイア・ブリーフィング。 (b) スキッパーとクルーはレセプション。 (c) ファイナルに進んだスキッパーとクルーは表彰式。</p> <p>4.3 天候等の事情により 4.1 の日程で大会が開催できなかった場合、本大会は中止される。中止の告知は以下のように行う。</p> <p>(a) 7 月 17 日までに中止が決定された場合: 参加スキッパー宛に個々に通知されるとともに JYMA ホームページ上に中止の旨を告知する。 (b) 7 月 18 日以降に中止が決定された場合: 可能な通知手段により個々のスキッパーへ通知される。</p>

5. スキッパーおよびチームの参加資格

- (a) 全日本女子部門はチーム全員が女性でなければならない。
クィーンズ・マッチ部門はスキッパーとクルー1名が女性であれば他のクルーの性別は問わない。
- (b) 両部門合計8名のスキッパーが招待される。実行委員会により招待されたスキッパーのみが本大会に参加する資格がある。
招待基準は以下の通りである。
【女子全日本部門】
- ・2009年6月1日時点のJYMA女子ランキング上位4名のスキッパー。
 - ・招待要請(インビテーションオファー)を提出したスキッパーの中から実行委員会が選考し招待する3名のスキッパー。
 - ・招待要請を提出したスキッパーの中からJYMA会長が推薦する1名のスキッパー。
- 【クィーンズ・マッチ部門】
- ・前記全日本の参加チーム数が8チームに満たなかった場合、残った枠をクィーンズ・マッチ部門に振り当てる。
 - ・クィーンズ・マッチ部門は招待要請を提出したスキッパーの中から、ランキングを参考に実行委員会が選出する。
- (c) 登録されたスキッパーは非常の場合を除き、レース中は常に艇の舵をとっていなければならない。
- (d) 参加資格を留保するために、スキッパーは招待の受け入れを e メールによって、招待状に記載された期日までに実行委員会に対して確認返信をするともに、所定の参加料、ダメージ・デポジットを支払わなければならない。
- (e) すべての競技者は、2009年度の有効なJYMA会員資格を取得していなければならない。
- (f) すべての競技者は、2009年度の有効なJSF会員資格を取得していなければならない。
- (g) すべてのスキッパーはISAFセイラーIDを取得しなければならない。これは www.sailing.org/isafsailor から無料でオンライン登録できる。
- (h) 外国籍を有するスキッパー、クルーは有効なナショナル・オーソリティの資格を証明できれば(e)と(f)の要請は免除される。

6. 参加

6.1 スキッパーは、参加料とダメージ・デポジットの支払を完了し、受付と体重計測をすることにより本大会に参加する。

6.2 参加料・レセプション費

参加料は1チーム60,000円である。レセプション費は1人3千円である。

参加料およびレセプション費は、招待状に記載された期日までに指定の銀行口座に振込まなければならない。

6.3 ダメージ・デポジット

ダメージ・デポジットは預からない。

6.4 大会が中止された場合の参加料の取り扱い

(a) 7月17日までに大会が中止された場合: 参加料は90%返却される。

(b) 7月18日に大会が中止された場合: 参加料は50%返却される。

(c) 7月19日以降に大会が中止された場合: 参加料は返却されない。

※レセプション費は中止された場合、全額返却される。

7. ルール

(a) 本大会はRRSに定義されたルールによって行われる。これには本SIアペンディックスCも含まれる。

(b) SIアペンディックスC(ハンドリング・オブ・ボーツ)はすべての練習中にも適用される。クラス・ルールは適用しない。

(c) ナショナル・オーソリティ規定は適用しない。

8. ボートとセイル

(a) 本大会はJ24クラス艇で行われる。

(b) 4艇のボートが用意される。

(c) 以下のセイルが各艇に支給される。メインセイル、ジブ、スピネーカー。

(d) ボートはレース委員会の判断により毎日もしくはステージごとに、抽選によって割り当てられる。

9. 乗員(スキッパーを含む)

- (a) 1チームに登録できる乗員の人数はスキッパーを含めて6名までである。(c)の制限体重以内であれば乗員は交代することができる。ただし、2レース目以降の乗艇人数は最初のレースに乗艇した人数より多くても少なくてもいけない。
- (b) クルーを交代する場合は、事前にレース委員会に申し、許可を得なければならない。また、クルーの交代のために要する時間はスタート時刻延期の要望対象とはならない。
- (c) 乗員の合計体重は340kg以内でなければならない。計測は最低限シャツとショーツを着用した状態で行われる。
- (d) 登録されたスキッパーが大会を継続することができなくなったとき、実行委員会はオリジナル・クルーメンバーから交代を認めることができる。
- (e) 登録されたクルーが大会を継続することができなくなったとき、実行委員会は交代選手、一時的な交代、その他の調整方法を認めることができる。

10. イベント・フォーマット

イベント・フォーマットはSIとともに発表される予定である。

11. コース

- (a) コースはスターボード回航の風上/風下で、ダウンウインド・フィニッシュである。
- (b) コース海面は日産マリーナ東海の沖合いに設定される。

12. 広告

- (a) ボートと装備が主催者によって提供されるので、ISAFレギュレーション20.3.2が適用される。各ボートは主催者によって支給される広告を表示することが求められることがある。
- (b) 実行委員会は下記の装備を支給し、ISAFレギュレーション20.3.2が適用される。実行委員会によって支給された装備にはカテゴリCの広告が表示される可能性がある。(未定)
- (c) 競技者は開催地の陸上では個人広告を表示することが許されることがあるが、これは実行委員会との個別交渉による。
- (d) 広告に関するルール違反は、艇による抗議の対象とはならない(RRS60.1の変更)。

13. 賞

【女子全日本部門】

1位のチームにはJYMA賞が贈られる。

【クイーンズマッチ部門】

1位のチームにはJYMA賞が贈られる。

女子全日本部門の優勝スキッパーは、JYMAより、09年10月末(予定)から韓国・釜山で開催されるプサン・ウィメンズ・ワールド・マッチレース(G1)アジア予選への日本代表としての出場権を付与される。なお、JYMAに対してプサンマッチ本戦への招待が届いた場合には、JYMAとして、女子全日本部門優勝スキッパーを日本代表として推挙する。

実行委員会は、競技者の不品行、あるいは公式行事への出席を含むリーズナブルな要求に応じることの拒否に対して、賞を減じることができる。

14. メディア、映像および音響

実行委員会はTVクルーとその装備(またはダミー)を、レース中搭載することを求めることができる。また競技者にインタビューに応じることができる。また実行委員会は大会期間中に採集されたすべての映像、音響を無償で使用する権利を有する。

15. 請求の否認

大会に参加するすべての者は、自己の責任で参加している。実行委員会、その提携者および実行委員会より任命を受けた者は、原因が何であれ、損害、損傷、負傷または被った不都合に対する一切の責任を否認する。

16. 行動基準と選手の義務

- (a) 競技者は、公式行事への出席や大会スポンサーへの協力を含み、競技役員からのリーズナブルな要求に従わなければならない。また大会の名譽を傷つけるような行動をしてはならない。
- (b) 競技者は、艇と装備を通常の注意とシーマンシップによって取り扱い、SI アペンディックス C と D に従わねばならない。
- (c) 競技者は自らのレースがないときに、レース委員会の要望に応じてレース運営の補助を行わなければならない。
- (d) この SI に対する違反のペナルティは、PC の裁量であり、それには大会へのこれ以上の参加からの排除、賞金の回収、ダメージ・デポジットの保留を含めることができる。

17. ダメージの取り扱い基準

- 17.1 以下のアイテムの紛失は理由のいかに関わらず当該艇の責任とし、以下の金額を支払わねばならない。
- (a) ウインチハンドル: 13,000 円/1 本
- (b) 抗議旗 (Y 旗): 5,000 円/1 本
- (c) 識別旗、B 旗、損傷旗: 各 3,000 円/1 枚
- 17.2 今回使用されるレース艇が加入している艇体保険の免責額は 1 艇 1 事故につき 10 万円である。免責額内のダメージ補修費用は、当事者負担とすることがある(ただし、10 万円が上限というわけではない)。
- 17.3 帆走指示書アペンディックス C (ハンドリング・オブ・ボーツ) に違反した結果生じたダメージは艇体保険適用の対象とはならない。当事者の負担である。
- 17.4 他艇との接触によって生じた、艇体、セイル、艀装その他備品のダメージは、その保険免責額内の修理費用を当事者間で負担するものとする(17.2 も参照。金額はダメージ・デポジットから優先して差し引かれる)。その負担割合は原則として当事者間の協議によるものとするが、当事者から要請があった場合実行委員会は PC のアドバイスを受けて、以下の割合によって分担することを勧告する。
- (a) 権利艇・非権利艇が特定できる場合
権利艇 2 非権利艇 8
- (b) 権利艇・非権利艇が特定できない場合
当事者間で均等割りとする
- 17.5 前項に該当するダメージが生じた場合、各スキッパーは帰着後 30 分以内にコンディション・レポートの他に別書式のダメージ・レポートをレース委員会に提出し、口頭でその概要を報告する義務がある。
- 17.6 大会の進行を妨げるような重大なダメージを引き起こしたスキッパーに対して、レース委員会はダメージの修理が完了するまでの間、そのスキッパーの成績を不戦敗とする場合がある。

18. 招待

本大会には招待されたスキッパーのみが参加できる。招待を希望するスキッパーは別紙のフォーム(インビテーションオファー)に必要事項を記入し 6 月 15 日(月)までに下記問い合わせ先の JYMA 実行委員 佐藤麻衣子にメールで送付し、招待要請の登録を行うこと。

19. 役員

大会会長	鳴海照芳 (株式会社日産マリーナ東海 代表取締役)
実行委員長	渡邊大志 (株式会社日産マリーナ東海)
実行委員	佐藤麻衣子 (日本ヨットマッチレース協会 理事)
	早川俊克 (ナショナル・アンパイア)
	川合紀行 (フッドヨットシステム ジャパン)
レース委員長	一木正治 (日本ヨットマッチレース協会 副会長)
競技艇委員長	横田順市

20. 問合せ

実行委員長: 渡邊大志 (日産マリーナ東海 0563-62-4511 携帯 090-5032-8663) E メール: daishi.watanabe@nm-tokai.com
 JYMA 実行委員: 佐藤麻衣子 (携帯 090-8667-4143) ms10747@sala.jp

発行日: 2009 年 5 月 29 日

Version 2.1



インフォメーション

(1)宿泊案内

会員制ホテル 三河湾リゾートリンクスが1泊(素泊まり)4,042円/1人の格安料金で利用できます。

<http://www.linx-xspa.co.jp/>

希望者は実行委員長・渡邊大志を通じて予約してください。

(2)練習

レース前日の7月18日(土)にJYMA主催のクリニックが開催される予定です。

練習を希望するチームは、是非、このクリニックへの参加をご検討ください。

(3)SI(帆走指示書)は7月10日までにJYMAのHPに公示される予定です。